

『アグレ』徹底調査

沖縄県求職者動向 アンケート調査結果



調査概要

実施期間：2012年1月14日(土)～2月10日(金)

調査対象：一般求職者・在職者

調査方法：インターネットアンケート
(WEB Agre/PC版・ケータイ版)

有効回答数：444名(男性122名、女性322名)

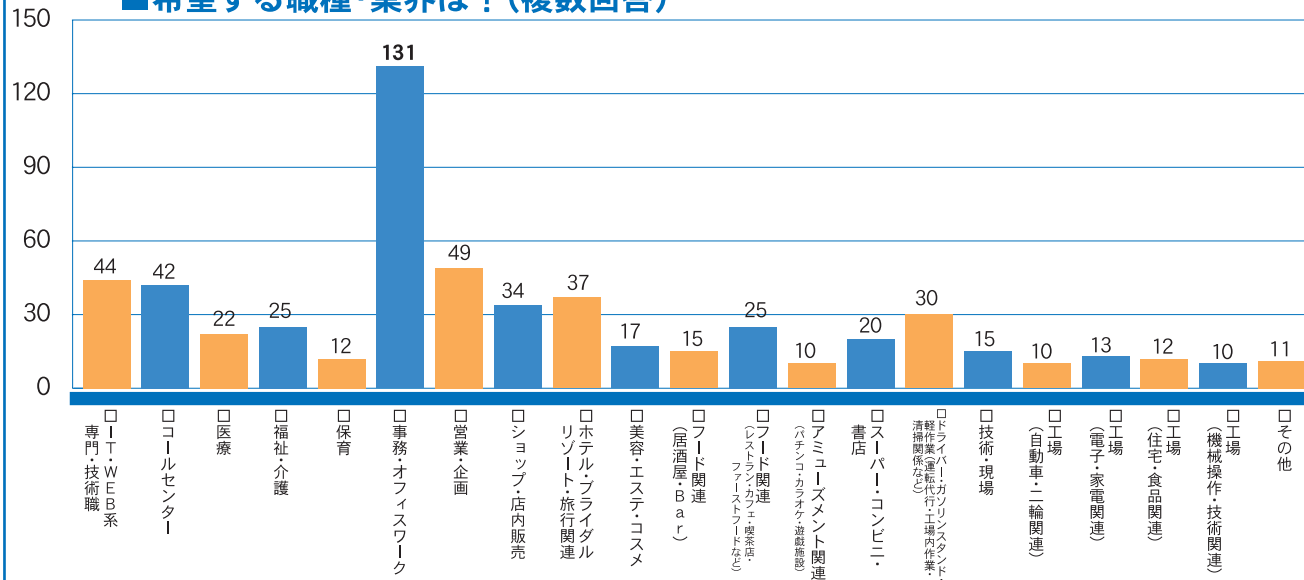
全国求人情報協会正会員

株式会社 求人おきなわ

社員希望者234名のうち、131名が『事務・オフィスワーク』を希望。 全国的にも人気の高い「事務系」は、沖縄でも圧倒的首位に！

次いで「営業・企画」、また県内新たな産業として成長著しい「IT・WEB」・いわゆる手に職の「専門・技術」への就業希望者も多く、求人頻度の高い「コールセンター」も同等の希望者数となった。

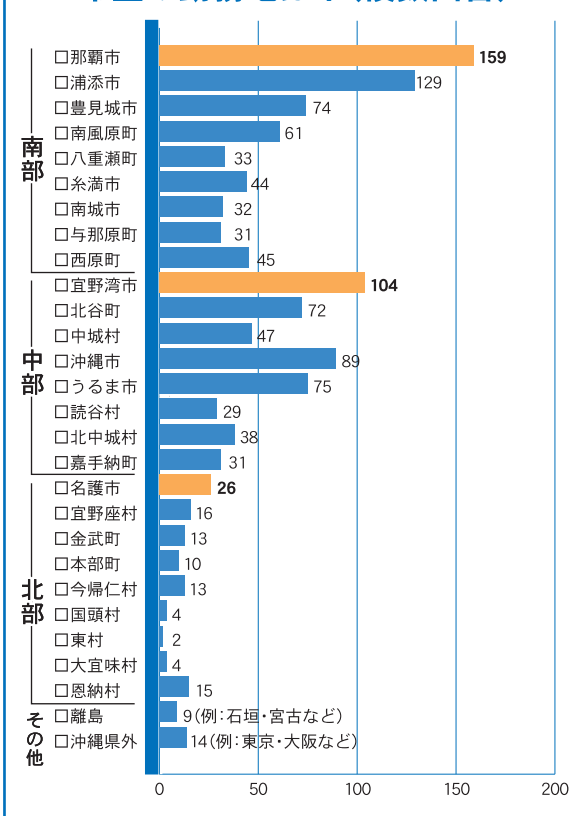
■希望する職種・業界は？（複数回答）



「希望の勤務地」は、那覇市・浦添市を はじめとする『南部エリア』に集中。

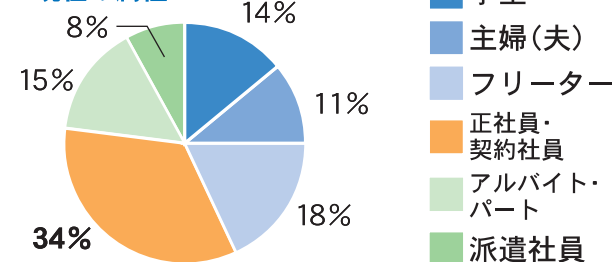
企業・店舗や人口が増えつつある「宜野湾市」を希望する人も多く、県内人口2位の「沖縄市」を上回る結果に。北部エリアや離島は、もともとの人口数から低数。

■希望の勤務地は？（複数回答）

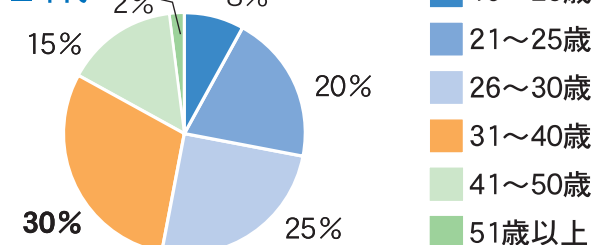


属性は現在「社員」として働いている割合が34%。
また今回、回答いただいた年代は主に20代～40代の方で
回答者のうち「61%」は女性という結果に。

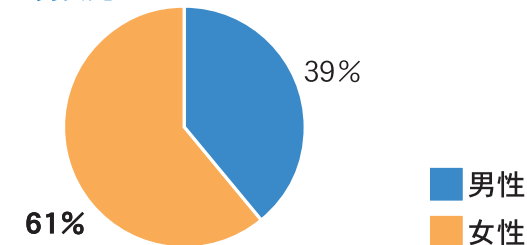
■現在の属性



■年代



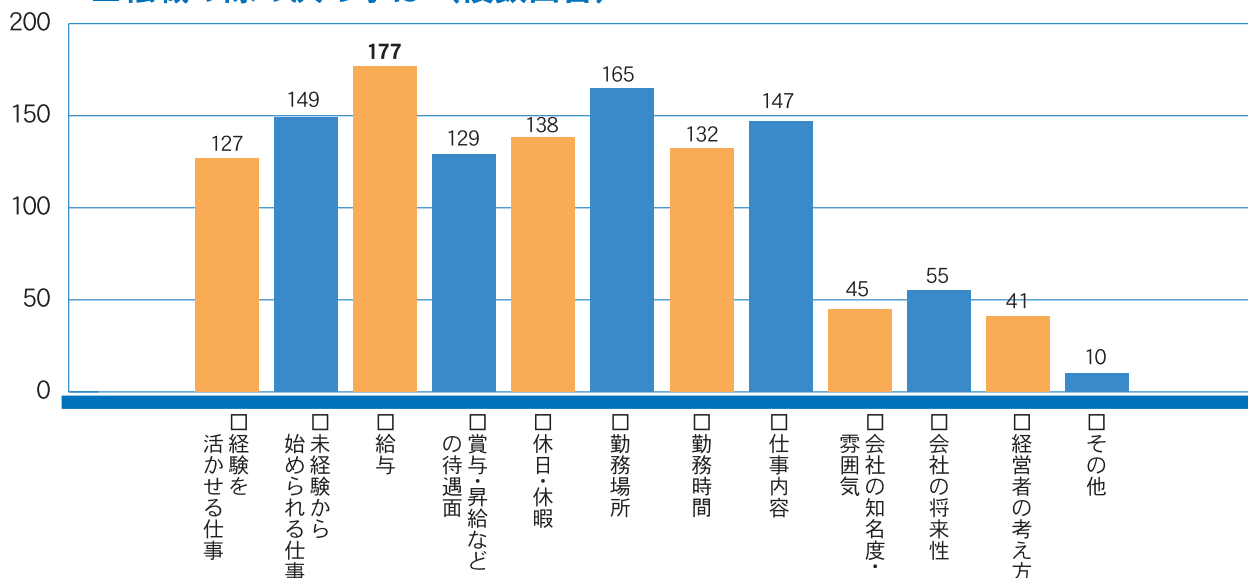
■男女比



転職の際の決め手は「経験を活かせる仕事」が、「未経験から始められる仕事」とほぼ同等に。給与・待遇面での優遇を提示できれば、経験者の獲得も可能!?

複数回答可のため、経験の有無のほか、給与や待遇面、仕事内容、勤務条件など「転職の決め手」は多岐に。求人の際は其中で、「何をPointとして打ち出すか」がより重要となりそう。

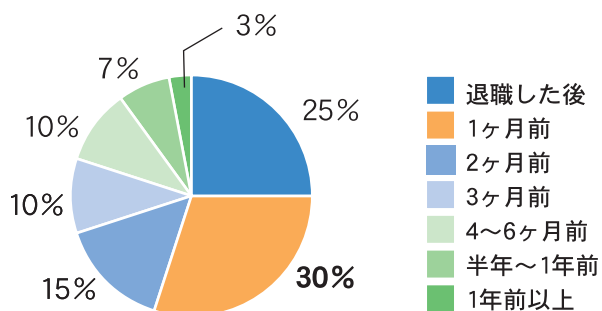
■転職の際の決め手は?(複数回答)



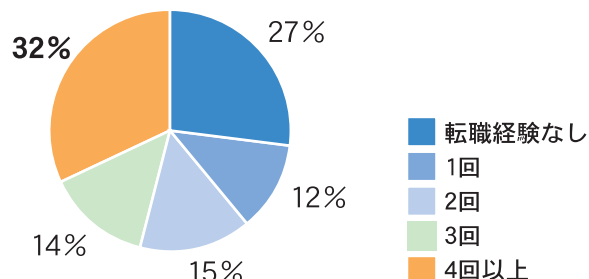
転職活動を始めた時期は、「退職後」または「退職1ヶ月前」と答えた方が全体の『55%』。実際に活動始めるのは、やはり「退職」が現実的になってから!!

転職回数は「4回以上」がトップ、希望の勤務開始時間は一般的な「9時～」が大多数を占めた。転職時期に関しては年間を通してばらけた結果に。年明けから春先、秋採用に若干の伸びがみられる。

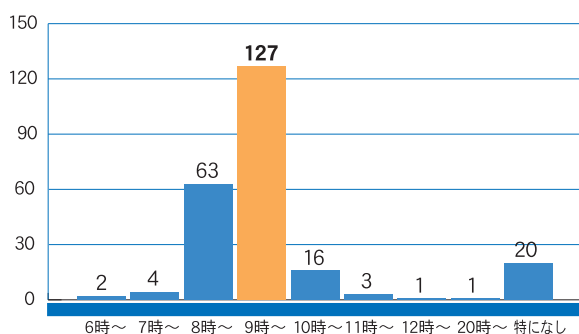
■転職活動を始めた時期は?



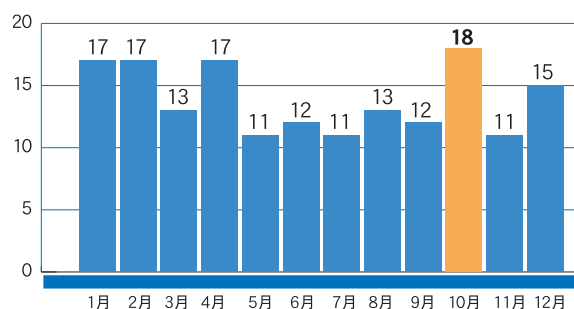
■転職の経験・回数は?



■希望する勤務開始時間は?

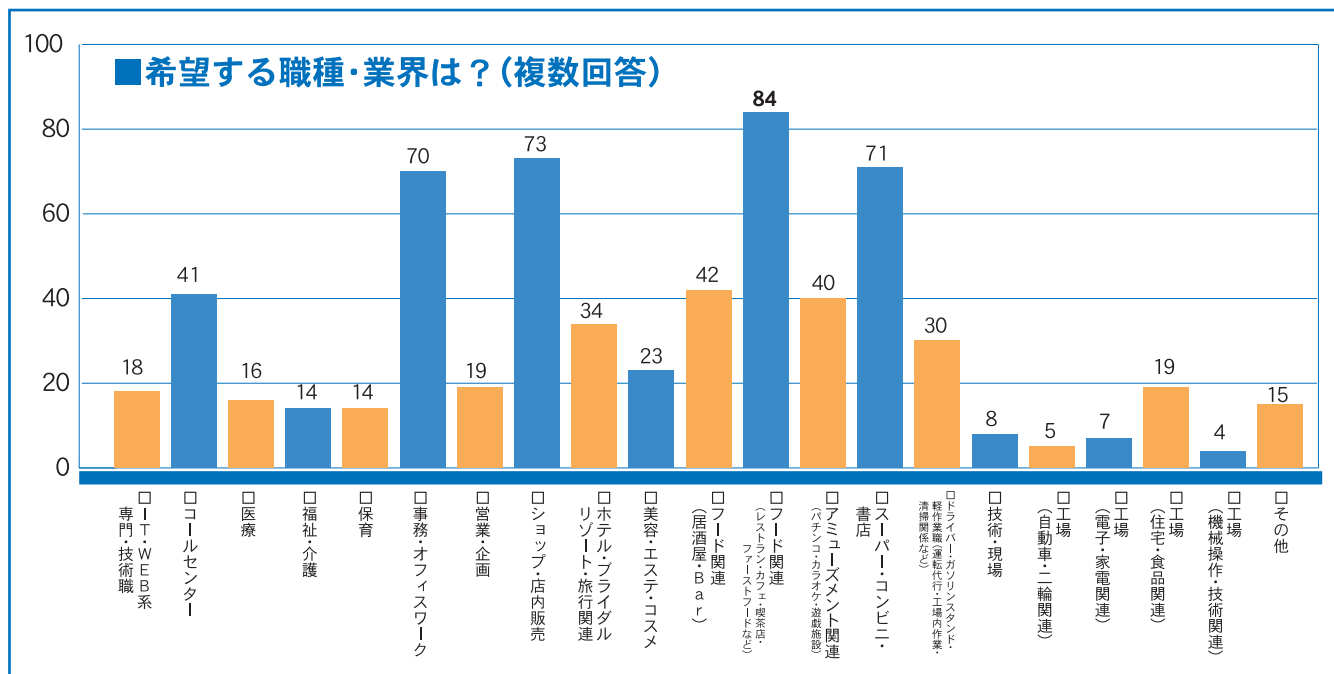


■転職した時期は?



バイト希望者は採用数が多く、学生層も働ける「フード」「販売」「スーパー・コンビニ」に集中。社員希望編で圧倒的人気の「事務」も上位に。

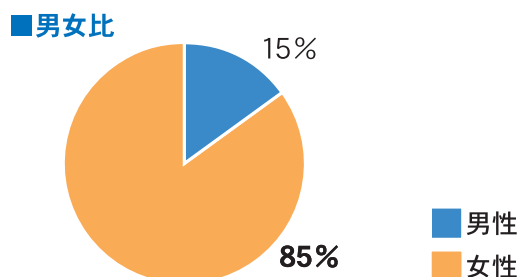
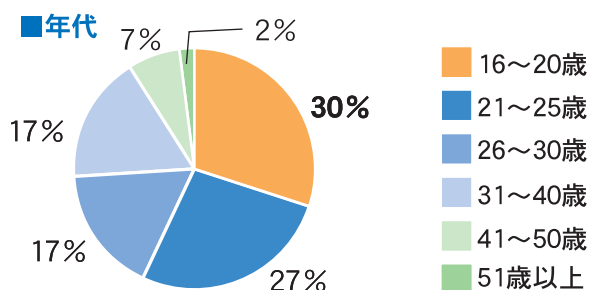
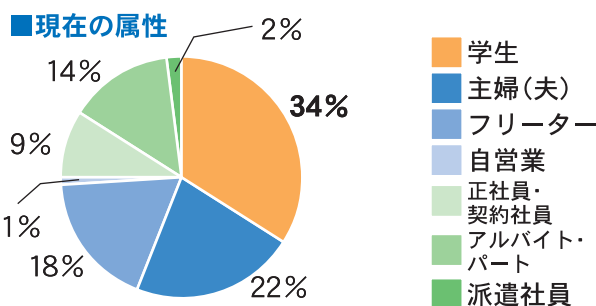
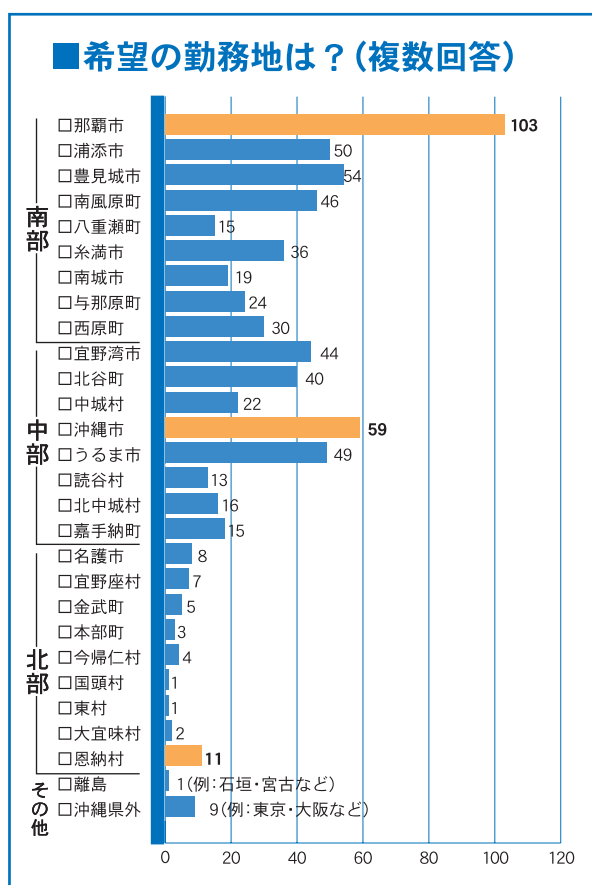
このほか、短時間や短期間での募集もある「コールセンター」、県内主要産業の「ホテル・リゾート関連」へのバイト希望者も多い。求人需要の割に、希望が少ないのは「医療・福祉・保育」。時間的拘束や給与・待遇の低さが要因か。



「希望の勤務地」は各市町村の人口に比例。「社員希望者」と比べて、「バイト希望者」の「通勤範囲」はやはりせざる傾向に。

バイト希望の為、属性は「学生」・「主婦(夫)」の割合が「56%」。年代は、主に16～40歳の方。男女比は、女性からの回答が「85%」とほとんど。

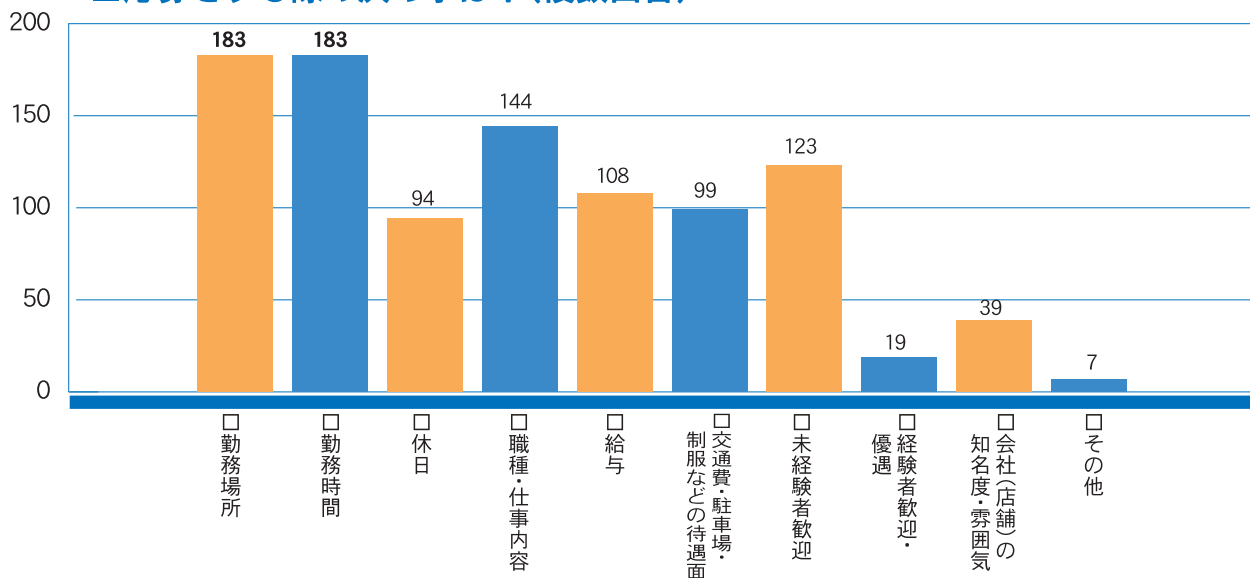
沖縄県は車社会。無料駐車場や交通費支給により、「通勤範囲」の幅もひろがってくる。その他にも「食事補助」や「社員割引」など付加価値がつけば応募者増につながる！



応募をする際の決め手となるのは、「勤務場所」「勤務時間」と183名がそれぞれ回答。
『プライベートとの両立【働き易さ】』を重視する傾向が強い！

次いで「職種・仕事内容」、経験を問わない「未経験者歓迎」という内容にもひかれるようだ。
一方で「経験者歓迎・優遇」には、当てはまらなれないと考える人が多いからか、重要視する人は少ない。

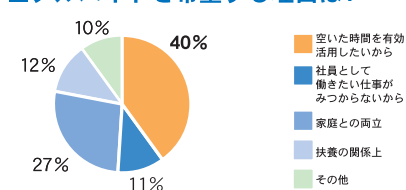
■応募をする際の決め手は？（複数回答）



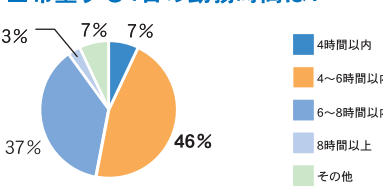
アルバイトを希望する理由は「空いた時間を有効活用したいから」が全体の40%。
希望する1日の勤務時間を「4時間以内」または「4～6時間以内」と答えた人は合わせて全体の53%を占めた。

「社員登用の希望」の問いに対し、「条件が合えば」と回答した人は全体の52%。
時間的拘束が増えたとしても、仕事内容や待遇、給与によっては社員を希望する人も多い。

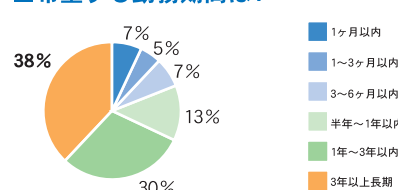
■アルバイトを希望する理由は？



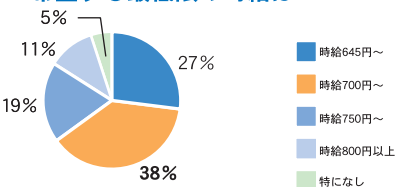
■希望する1日の勤務時間は？



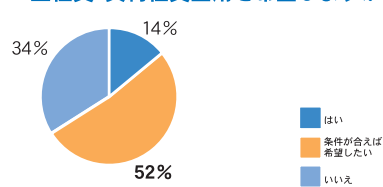
■希望する勤務期間は？



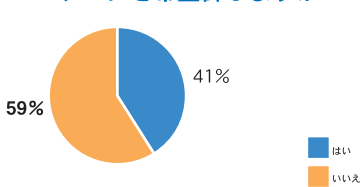
■希望する最低限の時給は？



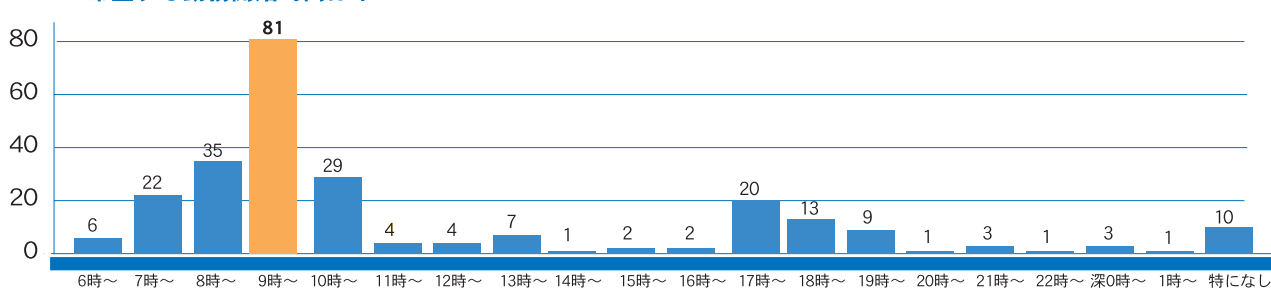
■正社員・契約社員登用を希望しますか？



■Wワークを希望御しますか？



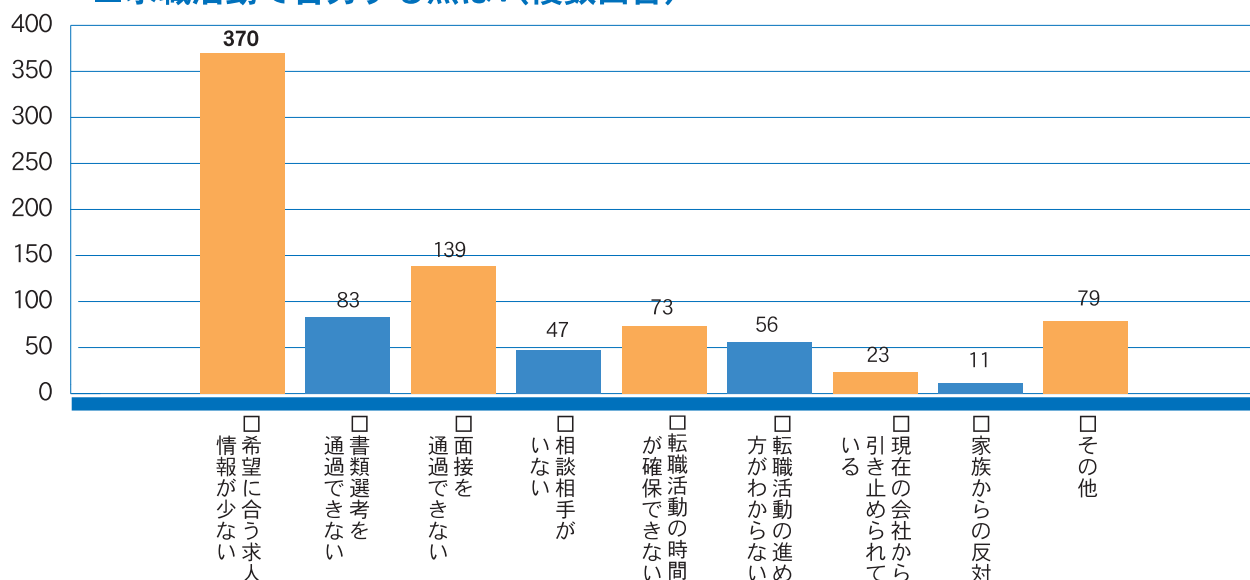
■希望する勤務開始時間は？



求職活動で苦勞する点は『希望に合う求人情報が少ない』と答えた方がほとんど。 勤務条件や給与・待遇面だけでなく、仕事内容や新たな業界・職種を求める声も多い!?

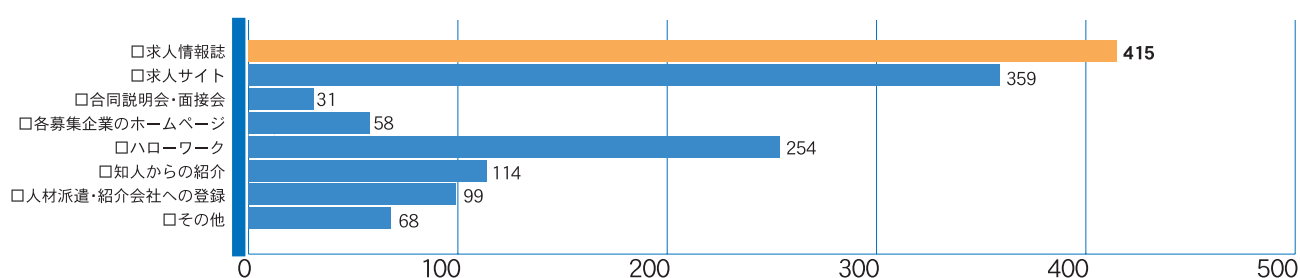
求職者は常に「いい条件」「新たな仕事」を求める傾向に。一方で求人する企業・店舗側は人件費や広告予算の確保など厳しい現実も。企業・店舗側が提示する「求人内容」を、求職者の求める内容と「どこまで擦り合わせられるか」が非常に重要となりそう。

■求職活動で苦勞する点は?(複数回答)

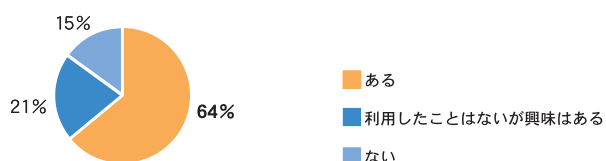


求職活動の手段としては、「求人情報誌」に次いで、「求人サイト」の割合も高い！沖縄では「求人誌が主流」とされてきたが、求人サイト(ケータイ・スマホ含む)を活用する人が急速に増えているという結果に！！

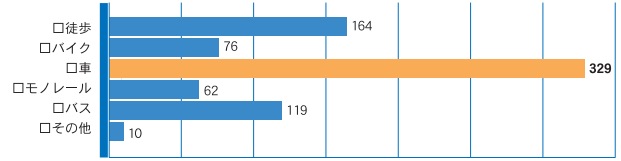
■求職する際に利用する手段は?(複数回答)



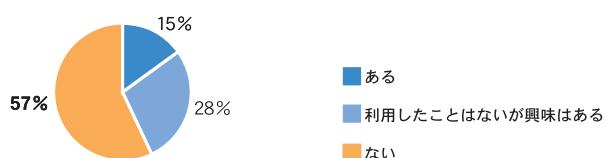
■人材派遣・紹介会社を利用した事は?



■希望する通勤手段は?(複数回答)



■基金訓練制度を利用した事は?



■「ある」と回答した方へ

基金訓練を利用してスキルアップや再就職に結びつきましたか?

